

2023.8.10 発行

# MARUNAKA TIMES

第36号

全建賞受賞

## 道路橋りょう整備(再復)工事(改良)

ふくしま復興再生道路整備事業 国道114号山木屋工区・国道349号大綱木工区



おめでとうございます！

大内健太さんの現場が表彰を受けました。

事業名 ふくしま復興再生道路整備事業 国道114号山木屋工区・国道349号大綱木工区  
授賞機関 福島県北建設事務所



国道114号山木屋工区



国道349号大綱木工区



ICT建設機械(タイローラー)

### 【事業概要と評価】

原発避難解除等区域の復興を担う幹線道路の整備。事業用地の権利者が県外等へ避難している状況の中で、用地交渉を遂行させるとともに、ICT建設機械の自動制御及び遠隔臨場などを通じて施工の合理化・効率化を図りながら、事業を完成させた点が評価された。

賛助会員：菅野建設工業㈱、多田建設㈱、寿建設㈱、棚小野工業所、石橋建設工業㈱、㈱エヌティーエス、マルナカ㈱、菅野建設㈱、高橋工業㈱、三本杉シオテック

## 新しい仲間を紹介します

インドネシアから



ウジャン サリップ君

ケフィン君は再来日です  
また来てくれてうれしいですね

ケフィン アルリ ウギ君

ワールドワイドな  
マルナカです

kita bersemangat ya

# 社島のつばやき

最近、社外の方から「社内報を閲覧していますよ」との声を耳にする事がしばしばあります。(10名以上)少し驚きました。とても嬉しい反面、知らない人も見てくれていると思うと身が引き締まります。

この社内報も、2020年8月に初刊し今号で4年目に突入しました。

社内報を発刊しようと思ったきっかけは、新型コロナウイルスの蔓延です。

例年、全社員が集い開催していた「新年度会社方針説明会」や「新年会」を中止せざるを得ず、社長(私)の考えや会社方針などを直接言葉で伝える機会が失われてしまいました。

そんな時、ある社員から「会社の未来がわからない」だから「自分の将来が不安である」といった相談を受けました。驚いて、すぐに実際に顔を合わせ、説明する機会を設けたところ、彼の強張った表情も穏やかになったのですが。

社員を不安な気持ちにさせてしまうとは、社長として情けない、と思いました。社長の責務の一つは、社員が安心して働ける環境を作ることです。

打開策を私なりに考え、まずは毎週月曜日の朝礼の場で近況報告を行うことから始め、社内の情報、自分の考えを発信・共有しました。そしてさらに、常に遠征しており、情報共有が困難な地盤改良部門の社員向けに、HPでも閲覧できるような「社内報」を作ることを考えました。

しかし「社内報」を作るなんて、何から始めたらよいか…?

既に始められている先輩方へ指導を仰ぎ、「見よう見まね」でスタートしたのが2020年8月…3年前でした。

(最近入社された方、HPでバックナンバーが閲覧可能ですよ。)

時は過ぎ、新型ウイルスも第5類へ移行。以前のように、社員が一堂に会するイベントも元に戻りました。

発刊当初の経緯からすると、趣旨も変化し「つばやき」ではなく「コラム化」しつつありますが、そこはご愛嬌でお願いいたします。

社員のみならず、社外にも！楽しみにしてくださっている方がいるという噂？

そんな話を聞いたら、止める理由が見当たりません。また、ご意見ご感想などがあれば、ぜひお聞かせください！今後の励みにもなります。

次号は、私が第二の人生を掛けるべく推し進めております「カンボジアでのビジネス」の話をしようと思います。乞うご期待！

まだまだ暑い日は続くそうです。書中から、残暑お見舞い申し上げます。

## 夏季休業について

健康第一

令和5年8月11日(金)～16日(水)



くれぐれも事故のないように過ごしましょう